

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選択科目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～21	日 本 史	22～35
世 界 史	36～51	地 理	52～59
数 学	60～61		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は志望学部・学科によって解答する問題が決まっているので注意すること。

科目	志望学部・学科	解答する問題	その他注意事項
数学	法学部(国際政治学科)	{Ⅰ}, {Ⅱ}, [法学部Ⅲ]	・ 解答を導く途中経過も書くこと。 ・ 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。 ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。 ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
	文学部(英文・地理・心理学科)	{Ⅰ}, {Ⅱ}, [文学部Ⅲ]	
	経営学部(経営戦略・市場経営学科)	{Ⅰ}, {Ⅱ}, [経営学部Ⅲ]	

5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

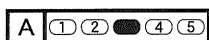
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

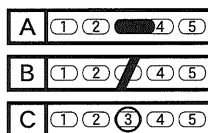
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(数 学)

受験学部により、解答する問題は以下の通り。

法学部は〔Ⅰ〕, 〔Ⅱ〕, 〔法学部Ⅲ〕

文学部は〔Ⅰ〕, 〔Ⅱ〕, 〔文学部Ⅲ〕

経営学部は〔Ⅰ〕, 〔Ⅱ〕, 〔経営学部Ⅲ〕

なお、指定された問題以外は採点の対象としない。

- 〔Ⅰ〕 1 から 4 までの数字が 1 つずつ書かれた札がそれぞれ 2 枚、合計 8 枚ある。さいころを 1 つ投げ、出た目の数と同じ枚数の札をこの 8 枚の札の中から同時にひくとき、ひいた札に書かれた数の合計について、つぎの問いに答えよ。
- (1) 数の合計が 2 となる確率を求めよ。
 - (2) 数の合計が 4 となる確率を求めよ。
 - (3) 数の合計が 15 以下となる確率を求めよ。

- 〔Ⅱ〕 周の長さが 10 かつ辺 AB の長さが 4 である三角形 ABC において、辺 BC 上の点 D、辺 CA 上の点 E、辺 AB 上の点 F を、

$$DC = CE = EF = FD$$

がみたされるようにとる。辺 BC の長さを a とおき、三角形 ABC と四角形 CEFD の面積をそれぞれ S 、 T とおくとき、つぎの問いに答えよ。

- (1) a のとりうる値の範囲を求めよ。
- (2) 線分 FB の長さを a で表せ。
- (3) $S = 3T$ が成り立つとき、 a および S の値を求めよ。

〔法学部Ⅲ〕および〔文学部Ⅲ〕

a, b は実数の定数とする。

- (1) 2次方程式 $x^2 + ax + b = 0$ が、1より小さい正の実数解と1より大きく2より小さい実数解をもつような、 a, b に関する条件を求め、その表す領域を ab 平面上に図示せよ。
- (2) 4次方程式 $x^4 + ax^2 + b = 0$ が、 -1 より大きく1より小さい異なる4つの実数解をもつような、 a, b に関する条件を求め、その表す領域を ab 平面上に図示せよ。

〔経営学部Ⅲ〕

a, b は $a^2b = 16$ をみたす $\frac{1}{\sqrt{2}}$ 以上の実数とし、 $t = (\log_2 a)^2 \log_2 b$ とする。

- (1) $x = \log_2 a$ とおくとき、 t を x で表せ。
- (2) t の最小値および最大値と、そのときの a, b の値を求めよ。